



大麻西小「学校だより」第13号

令和8年2月13日（金）

あ かるく たくましい子ども
さ さえあう やさしい子ども
に げずに やりぬく子
し んけんに 学び合う子ども



今年度のキーワード～ 笑顔があふれる子どもが主役の学校 ～

◆ 家庭・地域の皆様からのアンケート結果 ◆

保護者・地域の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。ご協力いただいた「共育アンケート」と「学校関係者評価」では、温かい励ましや建設的なご提案など、今後のより良い学校運営のための貴重なヒントをたくさんいただくことができました。引き続き、皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。結果について報告させていただきます。

（１）令和7年度 共育アンケート集計結果

■ 4段階評価（最大値 4.0）

4：あてはまる 3：おおむねあてはまる 2：あまりあてはまらない 1：あてはまらない 0：わからない

続いて、自由記述いただいたものは、紙面の関係上、一部重複するものや文言を整理してお知らせしております。

区分	No	質問項目	平均値
経営方針 の重点	1	学校は、保護者や地域の願いを受け止めながら教育活動を進めている。	3.5
	2	学校は、お便りやホームページ、テトルなどで教育活動を分かりやすく伝えている。	3.6
教育課程 学習指導	3	お子さんは、学校行事に意欲的に取り組んでいる。	3.7
	4	お子さんは、家庭学習において、目標を持ち、必要な学習に取り組もうとしている。	2.9
	5	参観した授業では、学校は子どもが目標に向かってねばり強く取り組む場面を設定している。	3.3
	6	参観した授業では、子どもたちは楽しく学習に向かう姿が見られた。	3.6
	7	ご家庭で、子どもが主体的に家庭学習に取り組むように、見守りや声掛けを行っている。（放任ではない）	3.3
	8	ご家庭で、主体的に活動できる子の育成のために、子どもに選択させたり判断させたりする場面を作っている。	3.2
	9	学校は、一人一人に基礎・基本の定着を図る指導を行っている。	3.3
	10	参観した授業では、子どもたちが自分の考えを書いたり話し合ったりする場面があった。	3.5
生徒指導 体力向上 健康教育	11	お子さんは、自分から進んであいさつができる。	3.0
	12	お子さんは、正しい言葉づかいで話すことができる。	3.0
	13	お子さんは、友だちと助け合うことができる。	3.4
	14	お子さんは、掃除にいていねいに取り組むことができる。	3.1
	15	お子さんは、きまりを守り、行動することができる。	3.4
	16	お子さんは、時間を見て行動することができる。	2.9
	17	お子さんは、忘れ物をせず、学習に向かうことができる。	2.9
	18	お子さんは、あきらめず、最後までやり抜くことができる。	3.2
	19	ご家庭で、子どもに運動習慣がつくようなきっかけを与えたり、声かけをしたりしている。	3.0
	20	ご家庭で、子どもが健やかな生活を送ることができるように、家庭生活を工夫したり声かけをしたりしている。	3.2
小中一貫	21	学校は、小中一貫教育の充実に努めている。	3.4
安心安全	22	学校は、安全・安心な環境づくりに努めている。	3.4

子どもの成長と学習・生活指導に寄せて

お子さんが楽しく登校する姿や、教職員の親身な指導に安心感を抱いているというお声を多数いただきました。家庭学習の習慣化や、集団生活でのマナー、個別の悩みへの対応など、学校と家庭が手を取り合って子どもを支えていくための指針となるご意見が集まっています。

- ・1年生で初めてのことも多く、本人も親も不安でしたが、毎日楽しく学校に通う姿に安心しています。
- ・子どもに心配なことがあっても、親身になって対応してくれる担任の先生に感謝しています。
- ・参観日の時、自分からアピール出来る子は先生の目も行き届くようでしたが、その他の子はなかなか気づいてもらえないように感じました。
- ・入学当初は学校の行き渋りがありましたが、今では行きたくないとの言葉を聞くことが無くなりました。
- ・友達との関係で困ったことがあったとき、担任の先生がしっかり話を聞き対応してくれました。
- ・指導要領の変化に驚いています。授業の見学では、指導者の立場として、子どもの惹きつけ方やユーモアのある関わり方を学ぶ方に目が行きました。
- ・学校でたくさんの事を学び、経験・体験をさせていただいているので感謝しています。
- ・家庭学習では、自ら進んで取り組もうとする姿勢が増えた様に思います。先生の日々の声掛けや工夫が子どものやる気を引き出してくれていると感じています。
- ・担任の先生への信頼の声が気聞かれており、安心しています。
- ・安心して学校に通わせています。本人も楽しく通えています。
- 学校の図工で使用する折り紙は、学校の画用紙と同じように諸費などにはできないでしょうか。
- 担任の先生が優しいので、忘れ物をしても気にしないようになっていささか心配しています。
- 一般公開日に学校へ見学に行った時、授業時間中でも廊下を歩いている子や移動教室でも遅れて来る子がいることに驚きました。授業がどんどん進んで行くので定着する前に次に進んでしまうのでわからなくなってしまった部分は先生に聞いたらいいのか家庭でどうにか対策するしかないのか疑問です。先生も忙しく時間がないと子どもは言っているのに聞にくいようです。
- 自分から進んで家庭学習に取り組まないでいるため、自分からできるようになればと思います。
- ・次の授業準備などお忙しい中でも、休み時間に子どもたちと遊んだり、関わってくださったりしていると聞いております。いつも本当に感謝しています。
- 挨拶と時間について、家で注意をする事が多いので、学校ではどうなのか気になります。
- ・先生方には、困ったときに素早く対応していただき、とても助かりました。
- ・委員会活動など積極的に取り組んでいると本人から聞いています。楽しく学校に通えています。
- ・最近、自分できちんとしたいけど、何故か気持ちが落ち着かず上手くいかないと悩んでいましたが、そんな息子にも個別で配慮頂ける学校でこの学校に入学させて良かったと思います。
- ・宿泊学習時期は大変お世話になりました！おかげさまで楽しく学校に通えています。
- ・いつも、担任の先生がきめ細やかな対応をしていただいて、感謝しています。教育相談も親身になって考えてくれています。
- ・毎日お忙しいにも関わらず、子どもの事を気にかけて下さる先生であるのが、子どもとの会話から伝わってきます。本当にありがとうございます。
- ・学習面や子ども同士の関係でも、とても丁寧に対応して頂き感謝しています。
- ・毎日楽しく学校に通っています。宿泊学習の前に、自ら準備をしている姿を見て、頼もしくなったなと感じました。
- 端末の持ち帰りはなくてもよいと思います。
- ・担任の先生は、道徳教育をきちんとしてくれるので、この時期に教えていただけた事に心から感謝しています。
- ・子どもの能力に合わせて学習を進めてくれ、子どもも不安なく勉強が出来ています。学校の話もたくさんしてくれて、楽しんで学校生活が送れているので安心しています。
- ・学校が大好きで、楽しく通っております。勉強面も、生活面も、しっかり指導していただき感謝致します。

学校・家庭間の連携に寄せて

お便りや「テトル」を通じた情報発信に多くの感謝の声をいただきました。一方で、お便りの確実な配布方法や、年度初めの個人懇談の希望、情報共有など、連携をさらに深めるためのご意見も届いています。

- ・毎朝、校長先生が校門前に立ち、笑顔で挨拶されています。子どもたちが親しみの気持ちをもって関わる姿に、子どもと先生の良い距離間を感じています。
- ・時に行きたくない気持ちを抱えた子どもも、玄関先や教室までの間で、様々な先生に声をかけてもらい気持ちを切り替えることができます。
- ・一人一人の子どもの様子が職員間で共有されている事を感じます。また、学年だよりが教育的な観点で発信されていて学びになります。
- 子どもが持ち帰るお便りが親に届かないことがあるので、兄弟ともに配布してもらえると助かります。
- ・学級通信を通じて、クラスの様子や出来事が分かり、助かります。いつもありがとうございます。
- ・学級通信に自分の写真が掲載されていると、うれしそうにいろんな話をしてくれます。お便りを通じて学校のことを話してくれる会話のきっかけになっています。お忙しい中ありがとうございます。
- 年度初めに希望する家庭だけでも、個人懇談などの時間を取ってもらえたらいいなと思っています。
- ・学級通信がとてもわかりやすく、家で話題になることが多いです。学校の様子が伝わり、日頃何を頑張っているか、先生の思いはどうなのかを親子で共有できます。
- ・忙しい中でも発行してくれることに感謝です。
- 学校と家庭とのやり取りにおいて、説明や認識の共有が十分でないと感じることがありました。今後は、対応や方針について、より分かりやすく丁寧な説明をしていただけるよう期待します。
- ・学級通信を通じて、普段の子ども達の様子や家庭で取り組んだ方がいい事を知ることができ、とてもありがたく思っています。
- ・保健室便りを見て子どもとその内容について話す事もあります。心温まるお便りをありがとうございます。
- ・何度休んでも毎回電話をくださり、学級通信も毎日のように届き、学校での様子がよく伝わります。ご多忙の中いつも本当にありがとうございます。1
- 学級通信の発行が少なくなり、クラスの様子がわからなくなってしまいました。できれば、1週間に一回は発行してもらえるとありがたいです。
- ・学級通信では、クラスの雰囲気や先生が伝えたいことがよく分かり、いつも発行を楽しみにしています。
- ・学級通信を通じて、先生や友達の想いや考えなどがよく分かり、大変ありがたいです。
- ・麻西ホームページの更新を楽しみにしています。

行事と地域・小中連携に寄せて

行事の縮小傾向にある中、本校が体験の場を大切にしていることへのご支持をいただきました。あわせて、観覧マナーの向上やプログラム内容の工夫、中学生との交流の在り方など、行事をより充実させるための前向きなアイデアをいただいております。

- ・子どもたちが意欲を引き出すように取り組まれていることが行事などを通して伝わってきます。土曜日や夏・冬休み期間中、またミニ児でお弁当を食べられるようなイベントがあると嬉しいです。
- ・昨年の運動会で、築山の途中で椅子に座っている方や関係のない学年の方が離れないなど、ビデオを撮る際にとても気になっていました。今年は、教頭先生が何度も呼び掛けてくださり、とても快適でした。ご配慮くださりありがとうございました。
- 運動会では、中学年でもよさこいをしているので、高学年は別のものがありました。毎年の縄跳びがすごいなと感じていたので少し残念でした。
- ・運動会や学習発表会などの行事では、多くの学校が縮小傾向にある中、子どもたちの活躍する機会を多く作ってくださり、本当にありがたいです。子どもたちの様々な経験の機会を今後も大切にしてほしいです。
- 運動会のリレーについて、今年度から運用が変わっており、学校から説明が無かったと思います。たくさん子どもたちが参加できるよう、昨年度の運用に戻して欲しいです。
- 学習発表会については、早くから廊下に並んで入っても、既に中にいる保護者がいるため、後ろになってしまいます。回ごとに完全入替にするなど、きちんと運用を徹底して欲しいです。
- ・学習発表会は、みんなが楽しく取り組み、歌も楽器演奏も素晴らしく、感動しました。
- ・小中一貫教育の充実のための取り組みとして、6年生が中学校に行ったり、授業や部活を体験できたりす

るのはとても嬉しいです。大会や練習日の関係で公開できない部活があるのが少し残念でした。

・学校行事は、近年短縮化、日常の取り組みの場とする

学校が多くありますが、今の麻西の行事の在り方が良いと思っています。子ども達の成長をととても感じることができました。

教育環境と施設・設備に寄せて

来年度からのエアコン稼働に伴うB日課の運用や、休み時間の確保に関する切実なご意見をいただきました。また、トイレの洋式化など、子どもたちが安全・快適に過ごすための環境づくりのご意見をいただきました。

- エアコンをつけたが暑くてもあまり使っていないと子どもから聞いたので適切に温度管理して欲しいです。
- 来年度からエアコンがつくということで、B日課の日数は減るのですか？子どもは、休み時間が減るのが残念なようです。
- トイレが全部洋式になるといいなと思います。
- B日課について、エアコンが来年度からは、稼働すると思いますが、暑さ対策の意味では必要なくなると思います。来年度も、B日課を継続するのでしょうか？休み時間が削られ、5時間目まで、子どもたちが辛いようです。集中力も低下し、学力低下にも繋がるのではないかと考えています。検討をよろしくお願いいたします。

- 親としてはB日課に関しては存続でも廃止でも構いませんが、子どもにとっては15分の休みでも気分転換に必要な時間なのだなと感じています。ご検討よろしくお願いします。
- 近年の高温環境を踏まえて、熱中症対策や水分補給の指導については、子どもの体調や個人差に配慮した柔軟な対応を、学校全体で進めていただきたいと思います。
- 冷房設備やLED等の環境が整い、安全でより過ごしやすい学校になることを願っています。子どもにとってランドセルの重さの加え、水筒を持っていくのも大変ですので、ウォーターサーバーのようなものがあっても良いのではと思います。

今後のより良い学校に向けて

この度、保護者の皆様からの感謝のお声だけでなく、改善へのご提案・ご要望もあげられています。4段階評価の項目では、子どもたちの学ぶ姿に高い評価をいただき、本校が目指す「自らの目標に向かい、ねばり強く挑戦する児童の育成」の具現化が図られている姿に近づいていることを大変心強く感じています。一方で、掃除、挨拶、言葉遣いといった日常的なマナーについては課題が見られました。これらは学校と家庭が連携して育むべき基本的な生活習慣であり、今後の重点として、学校全体で意識向上に努めてまいります。

そして、自由記述に寄せていただいた「子どもの成長と学習・生活指導」では、「先生が親身になってくれる」という声は、教職員の大きな励みとなります。ご指摘のあった「授業が定着する前に進んでしまう」「質問しにくい」といった不安を解消も含め、今後も一人ひとりに寄り添った指導を努めてまいります。「学校・家庭間の連携」では、感謝の声とともに、テトルの積極的な活用を含め、ホームページ等も積極的に活用やお便り以外の手段も工夫し、学校の様子の発信のあり方を検討してまいります。また、年度初めの懇談会という改まった形でなくとも、お子さんのことでご心配なことなどありましたら、ぜひ、担任へお気軽にご相談ください。学校としても家庭とよりスムーズに連携できるよう努めてまいります。「行事と地域・小中連携」では、行事を通じてお子さんが活躍する姿を応援して下さり、ありがとうございます。行事は、お子様が大きく羽ばたく貴重な舞台です。皆様からいただいた「もっとこうなれば」という想いを大切に、ルールを守り気持ちよくお子さんを応援できるよう、いただいたご意見を含め次年度へ向けて検討してまいります。「教育環境と施設・設備」では、トイレの洋式化などについて引き続き、教育予算への要望を上げさせていただきます。また、次年度からエアコンの稼働が始まります。今後も夏の猛暑が予想されることから、B日課の運用については、切実な声を受け止めつつ、今年度の反省も生かした運用の検討をいたします。

最後に、本校のキーワードである「笑顔があふれる 子どもが主役の学校」を目指し、皆様からいただいた「声」を糧として、より豊かな教育活動に努めてまいります。子どもたちが「明日も学校に行きたい！」と笑顔で登校できるよう、引き続き温かいご支援とご協力をお願いいたします。

1. 本年度の重点教育目標

◎自ら目標に向かい ねばり強く挑戦する児童の育成
～“チームあさにし”として子どもの未来を組織的に語り合える教職員～

2. 自己評価結果に対する学校関係者評価 ※評価項目に書いている数字はグランドデザインに対応

分野	評価項目	R7の自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
経営方針の重点	○子どもの未来を組織的に語り合える教職員 ・教職員一人ひとりが参画している学校 ・チーム“あさにし”として同じ目標に向かったり、共通した取組をしたりできる学校	A	分掌再編による負担平準化は、教職員が当事者意識を持ち取り組んだ成果であった。次年度は、小中一貫事務局体制の変化を見据え、学校の運営方針と整合性を保ちつつ、より円滑で機能的な組織体制の構築に向け、分掌の最適化を継続的に検討していく。	A	A
	④質の高い教育活動を推進する学校組織の強化・活性化と人材育成 ・働き方改革の推進により、子どもたちと向き合う時間の確保に努める学校 ・動く組織・自走する組織が構築された学校	B	業務改善の定着により職員の取組は活性化したが、時間管理の効率化に課題が残る。今後は成果を日常に還元し、更なる効率化と環境改善を推進。教職員が持続的に力を発揮できる、機能的な組織運営体制の構築に努める。	A	A
	⑧地域・家庭・学校が三位一体となった学校経営 ・PTA活動や地域との連携体制を深めている学校 ・学校運営委員会（学校関係者評価）を通じ、地域と連携した教育活動への理解・協力を得るとともに、本校の教育に対する意見や考えを学校経営に生かしている学校。	A	教育活動や情報発信は概ね高い評価であった。今後、保護者へ出前授業等への参観も周知するなど、参画機会を拡充し、地域・家庭との連携を深化させる。より簡潔で伝わりやすい情報発信を心がけ、相互理解に基づいた信頼される学校づくりを組織的に推進していく。	A	A
教育課程・学習指導	①不断の改善を目指す教育課程経営 ・行事に対し、明確なねらいと高い目標を設定し、子ども達に成功体験・肯定感・向上心の醸成を行う学校	A	教職員・保護者・児童から高い評価を得て、行事が成長の場として機能した。今後は主体的な活動を拡充し、学びを日常へ還元するとともに、3つの資質・能力の育成を軸に、教育活動全体を通じた組織的指導を一層推進する。	A	A
	○ICTの効果的な活用と教職員の資質向上をねらう校内研修の推進 ・ICTを活用した授業改善を図る学校	A	ICT活用の授業改善が進み、効果に応じた適切な使い分けがなされている。今後は活用の意図を一層明確にし、学びの質の向上を目指し、目的意識を持った効果的なICT活用を組織的に推進する	A	A
	⑥特別な支援を要する子ども・不登校（傾向）児童への手立てと校内体制 ・実態把握に基づいた適切な指導方法や必要な支援方法を確立できる学校	A	児童・保護者の困り感に寄り添う支援を継続する一方、体制上の限界も顕在化している。今後は登校支援室の運用等の対応を再検討し、個別の支援と持続可能な組織運営が両立できる体制の構築を組織的に推進していく。	A	A
	○素晴らしい事象や文化に感動し、情感を高める教育の推進 ・文化的な活動が充実した学校	A	掲示物は毎月更新し環境維持に努める。次年度は司書と連携しながら、児童の読書意欲を高める推進体制を構築し、読書活動の活性化の取組を推進していく。	A	A

	<p>②学びに向かう力を育てる学習指導と授業改善（改革）</p> <p>②知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「わかる・できる」の習得と、応用・発展につながる力の習得 <p>②思考力・判断力・表現力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思考を深化させ、多様な方法・場で伝え合うことができる力 	B	<p>学びのシートの活用により、目標設定や見直しを持った学習、振り返りの習慣化に確かな成果が見られた。今後は、受動的な学習姿勢を改善し、粘り強さを育むため、思考の深まりを重視した対話の充実に向けた指導と、全職員による継続的な検証・改善を通じ、全員の力を伸ばす組織的な授業改善を推進し、児童の持続的な成長を支援していく。</p>	A	A
生徒指導・体力向上・健康教育	<p>○人間性を育てる心の教育</p> <p>○自己実現を支える生徒指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たくましく未来を切り拓く力を培った子ども ・社会規範や公共意識をもち、自己指導能力をもった子ども ・自発的・主体的な子ども ・自分で決定できる子ども <p>☆大麻8ルールの重点を意識</p>	A	<p>次年度も小中一貫で挨拶を重点化する。児童の自己評価は高いが、教職員や保護者側の期待値との差がある。今後は「良い挨拶」の共通認識を育むため、児童主体の児童会活動と連動した取組を充実させ、形式に留まらない主体的な挨拶の定着を組織的に推進していく。</p>	A	A
	<p>○自他を守る健康・安全・美化指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「体力づくり」のための意識の高揚と行動を習得した子ども ・心身共に健やかな生活を築くための知識や行動を習得した子ども 	A	<p>外遊びや全員遊びを奨励し、体力向上と学級経営の充実を図る。体力テストの結果を反映した授業改善や出前授業も継続し、運動習慣の定着を組織的に進め、健やかな心身を育む環境構築に努める。</p>	A	A
小中一貫教育	<p>⑤小中一貫教育の日常化による「目指す子ども像」の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校区と組織的に連携し、義務教育9年間を見据えた指導を行うことのできる学校 ・幼保こ小と連携できる学校 	A	<p>事務局校としての教職員が組織的に中学校区間の連携に取り組むことができた。成果を確実に引き継ぐため、総括と次年度方針の策定を進めるとともに、今期の経験を糧に、次年度以降の小中一貫教育の推進役として、より主体的な参画を推進していく。</p>	A	A
その他	<p>⑦組織力を生かした危機管理体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織的に子どもの安心、安全を確保し命を守る学校 ・いじめに対し未然防止や見逃しゼロに取り組む学校 	A	<p>組織的指導体制への高い評価であった。今後も全職員が認識の齟齬が解消すべく情報共有を強化し、誰も孤立せず支え合える体制を再確認する。重点目標「チーム麻西」の実現に向け、組織力の向上を継続していく。</p>	A	A

【評価項目の設定、達成状況及び改善の方策に関する学校関係者評価委員の意見】

1. 先生方の尽力と子どもたちの成長について

日頃の先生方のきめ細かな配慮と、高い目標に向けた指導のおかげで、子どもたちの確かな成長を実感しています。委員からは、「先生方の評価はもっと高くあってもよいのではないか」という声が出るほど、その努力と成果を評価していただきました。

2. 「あいさつ」から見える子どもたちの社会性

児童の自己評価と、大人側の期待値に少し差があることが話題にのぼりました。しかし、これは決して後ろ向きなことではありません。

- ・社会性の芽生えとしての捉え： 相手や状況を見て判断できている証拠（社会性の獲得）である。
- ・学校での意識としての捉え： 「学校ではきちんとしなければ」という意識の表れであり、学校の教育力がしっかりと機能している。子どもたちが一歩ずつ社会の一員として成長している姿として、ポジティブに捉えています。

3. 教職員の働き方について

子どもたちと向き合う時間を確保するため、先生方の業務負担（プールの維持管理やデジタル端末の管理など）を軽減していく必要があります。一般企業と同様に、専門的な知識が必要な業務には「外部の専門家」を配置するなど、より効率的な校務運営を検討していく時期に来ているという意見が出されました。

委員の皆様からも、先生方の頑張りに対する温かい評価と、これからの学校運営への建設的なアイデアを多数いただきました。